

ぼらっと

2015年
3月26日発行
59号

発行元 〒020-0541 雫石町千刈田 82-2
雫石町総合福祉センター内
雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
☎：692-2230/FAX：691-1140
e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp
http://www.shisha.or.jp

★ぼらっとーキング★

このコーナーでは、町内でボランティアとして活躍している、グループ、NPO、企業、学校の皆さんの声をお届けします。

第6回目は、雫石町ボランティア活動センター運営協議会委員である、畠山操さん（ボランティア団体 TEAM.H330 代表）、岡森篤さん（役場福祉課）にお話を伺いました。

Q.お忙しいなかお集まり頂き、ありがとうございます。宜しくお願いします。

まず、畠山さんにお伺いします。ボランティアに参加するようになったきっかけを教えてください。

畠山…ボランティアを始めたきっかけは、やっぱり東日本大震災ですね。雫石町のホームページを見て、足りないものを調べて全国から物資を集めました。

Q.では、TEAM.H330 という災害ボランティア団体を立ち上げたきっかけを教えてください。

畠山…雫石町の豪雨災害です。災害があったとき、町内のボランティアが少なかったんです。その中でも、この町をどうにかしたいという同じ志を持った人たちが結成しました。



TEAM.H330 代表
畠山 操さん

Q.このように岡森さんと同世代の若い方が、ボランティアに対して積極的なことは、どう感じますか？

岡森…目的を持った人たちが集まって活動するというのは、すごくいいことだと思います。ただ自分は中々ボランティア活動が出来ていないんですが…（笑）

Q.もっと地域の方にボランティアに興味を持ってもらうにはどうしたらいいでしょうか。

岡森…こちらが声かけをして、実際に参加してもらって、ボランティアって難しくないんだというのが分かれば、そこから意識が変わってボランティアが増えることに繋がるかもしれないですね。

畠山…自分が実際参加するまでは、ボランティアは敷居の高い感じがしていました。でもやってみると、自分と同じような普通の人たちが活動していたんです。きっかけが大事なのではないでしょうか。やっぱり、ボランティアをする人は何か特別というイメージがあるんじゃないかなと思います。

Q.きっかけが大事ということですが、畠山さん自身は最初の一步をどう踏み込んでいったのですか？

畠山…とにかく被災した方々に何かをしてあげたいという気持ちです。震災直後は、福祉センターに物資やお金を届けてくれた方もいましたよね。

Q.ボランティアには色々な形がありますよね。

畠山…ボランティアとは、「やれることを、やれるときに、やれる人がやる」だと思います。

Q.豪雨災害を受けて、昨年災害ボランティア講習会を開催しましたが、受講してみたいかでしたか？

岡森…チェーンソーの使い方や、床板の剥がし方などをやって、また災害が起きたときやれるかと言われれば出来ないかもしれないですが、勉強出来たことは今後に繋がると思います。



役場福祉課
岡森 篤さん

Q.ボランティアの高齢化が指摘されていますが…

岡森…最近思うのは、雫石町でも1年で

1%ずつ高齢化率は上がっていますが、元気な高齢者が多いですね。これからも高齢者は増えていきますが、元気な高齢者が増えれば、何も問題はないと思います。

雑談を交えながら

和気あいあいとインタビューが進みます♪



Q.ボランティアに踏み切れない人や、ボランティアを始めようとしている人に何かあればお願いします！

畠山…思い立ったら行動してみるといいのではないのでしょうか。

岡森…小さな意識改革ですね。ボランティアという言葉がなくなっても、思いやりでやっていたことが、実はボランティアだったということに気付くことが大事だと思います。

畠山…青少年ボランティアスクールやスノーバスターズのボランティア活動に、若いうちから参加出来るきっかけがあるのはいいことだと思います。そこに学生たちもやる気を持って参加してくれれば、次につながっていくと思います。

若い世代のボランティアへの思いと活動力に感銘を受けました！！

最後にボランティア新担当の武田とパチリ☆ありがとうございました♪



お知らせ掲示板

平成27年度ボランティア活動保険 受付スタート!

平成27年度のボランティア活動保険の受付が始まりました!! ボランティア活動保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

ボランティア団体で活動している方、これからボランティア活動をしようとする方は、安心して活動するために、ぜひご加入ください!!

※保険料

- ・基本タイプAプラン：300円
- ・天災タイプAプラン：430円

※天災タイプの保険料が改定され、よりご加入しやすくなりました!!

※お問い合わせ先

雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
TEL：692-2230
FAX：691-1140
担当：武田・澤口

ボランティアの達人

-VOL.32-



今回は、学校支援ボランティア代表として活躍されている**佐々木浩子さん**にお話を伺いました。(以下質問↓Q、回答↓A)

Q、普段は南畑学童で働いている佐々木さんですが、ボランティアを始めるきっかけは何でしたか?

「ボランティア活動について知りたい…」
「どんなボランティア団体があるの?」など、ボランティア活動に関する疑問をお持ちの方のために毎号掲載します。



教えて!ボランティア VOL.6

しつもん?

Q. 自分たちの団体の宣伝や、活動仲間を募集したいのですが…

A. ぜひ、「ぼらっと」をご活用ください!!
ぼらっとは、隔月発行されており、雫石町の全戸に配布される情報紙です。町民の皆さんが目にするものですので、宣伝効果が期待できます。

ボランティア活動をしたいけど、どんな団体があるか分からない…という方のためにも、みなさんの活動をぜひ紹介してみませんか??

また、団体の紹介や、活動仲間の募集だけでなく、各種イベントの紹介も「ぼらっと」で紹介可能です!!

詳しくは、ボランティア活動センターまで♪

キャップハンディ体験中!!



Q、学校支援ボランティアの主な活動内容を教えてください。

A. 学校に関わることで何でもします。例えば、登下校の安全見守りだったり、授業の補助、白杖・車イス・手話などのキャップハンディ体験、読み聞かせなどを行っています。

Q、学校支援ボランティアの創設者である、藤原恒子さんに誘われたのがきっかけです。もともと学童で働いていて、子どもと関わることは好きだったので。

Q、ボランティアになるには、ボランティアにメッセージを!

A. 小さなことでも出来る範囲で、気軽に始めて欲しいです。自分の身近なところから、ゴミ拾いでも十分ボランティアです。

Q、ボランティアをしていて、嬉しかったことは何かありますか?

A. やっぱ子どもたちの反応があつたときが一番嬉しいですね。子どもから手紙をもらったときは本当に嬉しかったです。

みみより! 助成金情報

高齢者を主な対象として、活動しているボランティア団体のみなさんにみみよりの助成金情報のお知らせ!!

「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

高齢者を主な対象として活動を行っている団体で、要件を満たす団体が応募出来ます。

- ・助成金額：1グループ10万円を上限
- ・応募期限：平成27年5月22日(金)
- ・必要要件：ボランティア数10名~50名程度
活動実績2年以上
グループ名義の金融機関口座を保有

★申請の仕方などのお問い合わせ先★

雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

TEL：692-2230